

<b>令和3年度 第2回さいたま市行政デジタル化計画評議会 議事概要</b>		作成日:令和4年2月25日
議 題	令和3年度 第2回さいたま市行政デジタル化計画評議会	
日 時	令和4年2月24日(木曜日) 14時00分 ~ 16時00分	
場 所	オンライン会議	
出席者 (敬称略、 順不同)	評議会委員:吉浦会長、宮本副会長、秋山委員、江原委員、岡田委員、高橋委員 事務局(デジタル改革推進部):石崎参事、石山主幹、青谷主査、西田主事、谷田主事	
欠席者 (敬称略、 順不同)	-	
議事項目	1 開会 2 さいたま市行政デジタル化計画アクション・プランの事業進捗について 3 閉会	
公開・非公開 開の別	公開	
傍聴人数	0人	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度さいたま市行政デジタル化計画評議会委員名簿</li> <li>・令和3年度デジタル化事業の進捗状況について</li> <li>・さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業実績一覧(令和3年度)</li> <li>・さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業計画一覧(全体)</li> </ul>	

\*\*\* 決 定 事 項 \*\*\*

※※※ 要 対 応 事 項 ※※※	担当者	締切日
なし		

## 議 事 概 要

(以下、敬称略)

## ■ 1 開会

会議の公開について

- ・ 本会議について公開とすることを確認後、傍聴希望者を確認。  
→傍聴者なし。

## ■ 2 さいたま市行政デジタル化計画アクション・プランの事業進捗について

さいたま市行政デジタル化計画アクション・プランの事業進捗について、  
次のとおり説明した。(事務局)

- ・第1回評議会におけるコメントと所管課回答について
  - ・令和3年度評価が遅延となっている事業について
  - ・令和3年度で事業廃止、完了となる事業について
- 委員から質問等なし

「以下、令和3年度の実績に対する意見等」

→資料の作りとして、該当の事業が活用フェーズに入っているのか、導入に向けて検討フェーズか  
が資料でわかるとPDCAが回しやすいのではないかと。(宮本委員)

➢ご指摘の点について、修正していきたい。(事務局)

→導入検討フェーズの事業であれば、スケジュールをより詳細にした方がいいのではないかと。また、  
翌年度以降のスケジュールがわかりづらいので、そういった内容があったほうがPDCAの評価が  
しやすい。(宮本委員)

➢年度単独の「さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業実績一覧(令和3年度)」と計  
画期間5年分の「さいたま市行政デジタル化計画アクション・プラン事業計画一覧(全体)」をあわ  
せてご覧いただきたい。(事務局)

→2-5-1「働き方改革・BCPの観点からのテレワーク推進」について、テレワーク実施者数の割合が  
目標の50%に対して、実績が半分の25%となっているが課題や問題点は何だったのか。

また、今後テレワークを積極的に推進していくのか。(秋山委員)

➢テレワークが活用しづらい部署での実施率が伸びていない課題があった。

来年度以降も引き続き、目標に向けテレワーク推進に取り組んでいく。(事務局)

→2-4-6「NPO 法人データベースシステムの導入」について、市が求める実施項目自体を削るという考えはあるか。(吉浦委員)

➢所管課から、市が求める実施項目自体を削るという考えは伺っていない。(事務局)

➢市独自で色々なシステムを作って、コスト高になってしまうようなものは削ってしまってもいいのではないか。求める項目を削ることも含めて検討したほうが良いのではないか。(吉浦委員)

➢所管課へフィードバックする。(事務局)

→10-2-1「ひとり親家庭等への情報発信の充実」について、どのようなテストを行って、どのような結果を得られたのか。結果が出ないなら取捨選択してもよいのではないか。(江原委員)

➢子育て世帯生活支援特別給付金において、申請期間開始から一定期間経過後に未申請者に対してプッシュ型通知テスト配信を行ったが、期待した申請者増加の結果は得られなかった。

令和4年度は、予算のかからない範囲でテストする等を検討していくとのこと。(事務局)

→2-3-2「学校事務効率化事業(小・中・特別支援学校)」について、定量目標の数字が感覚によるものなのか、どのように報告があがってきているものなのか。(江原委員)

➢定性的なアンケートによるもの。(事務局)

➢現実的にどれだけの時間が削減できたかが重要なので、アンケート結果による目標も持ちつつ、削減時間等、具体的な目標も入れた方がいいのではないか。(江原委員)

→10-2-1「ひとり親家庭等への情報発信の充実」について、対象者に登録を促すのはどのくらい大変なことか。(吉浦委員)

➢市で、すでに把握している情報をもとに通知を送るので、登録を促すことは発生しないと把握している。(事務局)

➢その場合、定量目標の登録者数はどういうことか。(吉浦委員)

➢把握していなかったため、後日確認する。(事務局)

~~~~以下、後日確認内容~~~~

年度当初は LINE による通知を検討していたため、市のアカウントに対して、友達登録者数を目標としていたが、年度途中でセキュリティ等の関係でプラスメッセージを用いたテストを行った。なお、プラスメッセージの場合は友達登録等不要なので、プラスメッセージを実装することになった場合は、目標の見直しが必要とのこと。(事務局)

→2-4-7「介護認定審査会における web 会議システム構築事業」について、令和3年度目標は 6 合議体で実施となっているが、5 年間の目標では未定となっている部分はどう考えたらよいか。(吉浦委員)

➢来年度以降の目標については、所管課に確認。(事務局)

~~~~以下、後日確認内容~~~~

令和4年度については、8 合議体での実施を目標としている。それ以降について具体的な数字は固まっていないが、Web 会議による合議体の実施を拡大していく予定。

➢年度ごとの評価について、もう少し具体的な目標を定めて、評価したほうがよいのではないか。(宮本委員)

➢計画期間5年間の目標をベースに年度の評価票を作成している結果、わかりづらいところもあるので、評価のやり方について検討する。(事務局)

→学校関係のICT導入で、先生の業務時間削減の話があると思うが、配布したタブレットの故障や備品紛失等にかかる先生の手間が年々増えるような気がするが、事業を実施するにあたってそのあたりがもし考慮されていなければ考慮して事業実施したほうがよい。(吉浦委員)

➢所管課へフィードバックする。(事務局)

→4-1-1「スマートシティさいたまモデル推進事業」について、埼玉県のスーパースィティ構想との整合性が取れているのか。また、令和3年度実装された「生活支援サービス」はどのようなものか。(江原委員)

➢整合性については、後日確認。

実装サービスについては、さいたま市地域ポイントサービス「たまぽん」を実装。すでに1万人の利用者が利用している。(事務局)

~~~~以下、後日確認内容~~~~

「埼玉版スーパースィティプロジェクト」については、本市を含めた11の市町が第1弾として取り組んでいるところ。そのプロジェクトにおける本市の取組が「スマートシティさいたまモデルの推進」、という関係になっている。

→4-2-3「ごみ拾い情報共有アプリの導入」について、今後どのように利用していくのか。(岡田委員)

➢アプリ参加者増加と清掃活動活性化を目標に周知・啓発に取り組んでいく。(事務局)

➢もし、自治会に対してお知らせなどをしていなければ、自治会向けに周知をしてはどうか。(岡田委員)

→2-3-2「学校事務効率化事業(小・中・特別支援学校)」について、GIGAスクール構想のさいたま市の実情はどのようにになっているのか。生徒に対して、1人1台タブレットが配布されているのかなど(秋山委員)

➢生徒に対してのタブレット配布については、1人1台タブレット配布が完了している。(事務局)

➢進行管理事業の中にGIGAスクールという項目は入っていないという認識でよいか。(秋山委員)

➢GIGAスクールという事業名の項目はないが、GIGAスクールを構成している細かい事業が進行管理事業として進行管理されている。(事務局)

➢2-3-1の事業を2-3-2に集約するのであれば、学習の面での効率化について、定量定性的な目標を立てて、検討いただきたい。(宮本委員)

→2-4-5「さいたま市大宮盆栽美術館 IT システムのクラウド化」について、定量目標の時間について、月当たりなのか、年なのか単位を明記すること。(吉浦委員)

➤所管課へフィードバックする。(事務局)

→5-1-2「市況を HP に即日掲載するためのシステムの構築」について、RPA の文字認識等の不具合が発生しているとのことだが、市場側をデジタル化する等、文字認識をしない方法を考えてはどうか。(吉浦委員)

➤所管課へフィードバックする。(事務局)

→11-1-1「情報セキュリティ強化事業」について、標的型攻撃メール訓練における連絡率が落ちているのは問題ではないか。(吉浦委員)

➤ご指摘の目標値については、目標を下回っているもののセキュリティにかかるほかの数値は上がっているため原因を究明して、見直しを図っていく。(事務局)

➤目標の設定の仕方を標的型攻撃メールを開いたかどうかなどにしてはどうか。(吉浦委員)

吉浦会長より、本日の議事終了の確認。

合わせて、本日の意見をまとめ、各デジタル化事業の進行管理に生かすよう事務局へ伝達。

■ 3 閉会

以上